

緩みにくく、長さの調整がしやすい!!

留めラック!



実用新案登録済



使用方法
MOVIE



クラフト・ワークス・ベアー

<http://www.komine.tokyo/bear/>

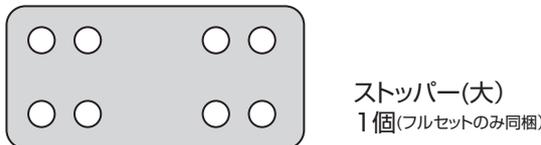
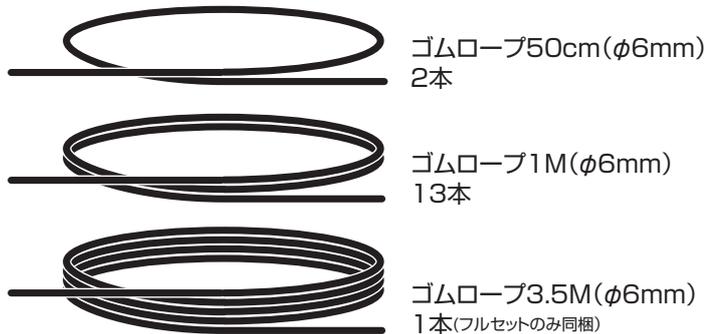
〒192-0156 東京都八王子市上恩方町1016-1 社寺綜建小峯上恩方作業場 内

△ 安全に関する注意

- 誤った使い方、取り付け使用は重大な事故を招く可能性があります。その場合、弊社は一切の責任を負いかねます。本書に従いご装着して下さい。
- 本製品は軽貨物車などの荷室の簡易幌やハトメのあるビニールシートなどを固定することを前提とした簡易固定具です。木製自在ストッパーは一般的なシートを固定する強度は維持しておりますが積載した重機などを固定する強度はありません。想定以上の強度を要求した固定を行うとゴムロープの破断や木製自在ストッパーの破損を起こします。万一破損した場合は破損したパーツの使用を中止し、予備パーツと交換するか装着位置を変更し安全に固定された状態に改善を行ってください。なお破損状態や不確実な装着により生じた事故による傷害および損害、または本製品を使用して起こった事象に関して一切の責任を負いかねます。
- 本製品の改造を行わないでください。木製自在ストッパーなどに他社製のロープやワイヤーなどを使用した場合、無理な力がかかり、破損の恐れがあります。(本製品のゴムロープはφ6mmです) 本製品は簡易固定具のため、積載物の保護や盗難の抑止には役立ちません。積載物の管理は別途対策を行ってください。盗難・破損・冠水による被害・損害は補償いたしかねます。

荷室の幌・シートの固定が、かんたん!!
積載物にあわせて、スピーディーにゴムの長さを調整。
緩みにくい4穴式の固定方法を採用しました。

商品構成 (スターターセット・フルセット)



*スターターセットの場合は、ゴムロープ3.5M(φ6mm) / 木製自在ストッパー(大)は商品に含まれません。

この度は、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前には、必ずこの取扱説明書をお読みの上、正しく装着の上ご使用下さい。
取扱説明書の内容につきまして不明な点などがありましたら、お買い求めの販売店に問い合わせいただき、ご理解の上使用してください。

ご使用になる前に必ず本書注記事項をお読みの上、正しくお使いください。

△ 警告 安全のために必ず守って頂きたい事。
守らないと生命に危険、または重大な傷害につながる恐れがあります。

△ 注意 安全のために必ず守って頂きたい事。
守らないと傷害、または事故につながる恐れがあります。

△ 注意 商品が合わない場合は適合製品と異なる場合がありますので、商品の加工をせず事前にお問い合わせ下さい。また製品の初期不良に関してのみ対応させていただきます。
使用後の製品の経年劣化や破損については対応いたしかねますのでご了承ください。

△ 注意 装着作業は安全な作業環境の中必ず2人以上で作業を行ってください。
エンジンを停止し、サイドブレーキをかけ車輪が確実に固定されている事を確認してから作業してください。



木工レンタル工房
Craft works BEAR

留めラック!

緩みやすく、長さの調整がしやすい!!

実用新案登録済

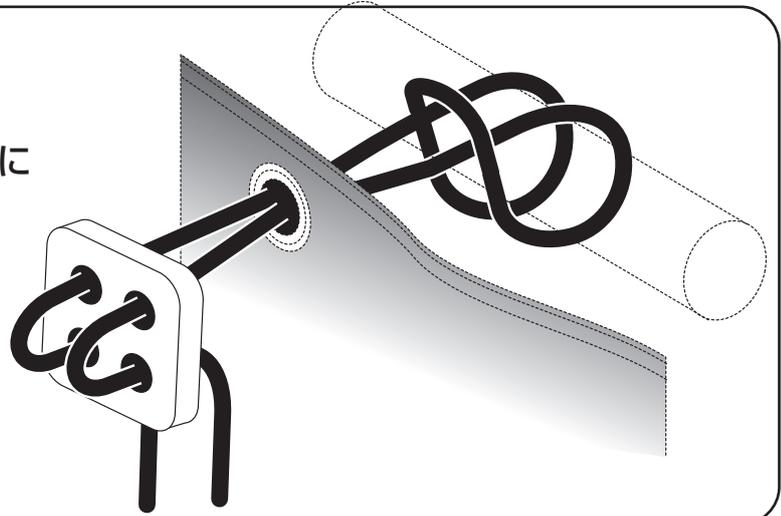
基本使用例

※イラストは軽トラックを前提とした場合です。車種によりフックの位置や数は異なります。

A アームや、あおりのフックへ タイトに縛る場合など

右記の縛り方で隙間や遊びが出ないように
しっかり縛ってください。

- ⚠ 注意 固定の際、緩みなくテンションがかかっていることを確認してください。
- ⚠ 警告 車両側の駆動部に干渉する可能性がある位置に装着しないこと、経年劣化で破損の恐れがある部位に装着しないこと。



ガードフレーム(鳥居)にシートを固定する際は「A」の方法で共締めしてください。
※この部分のゴムロープは短い50cmの物を推奨します。

荷室のテンショナーは
ストッパー(大)と
3.5Mのゴムロープと1Mのゴムロープを
組み合わせて使用することを推奨します。
(フルセットのみ)

テールゲート(あおり)やフレームの
フックに使用する場合は「B」の方法を
推奨します。

車種により、テールゲート(あおり)のフックが3個の場合と2個の場合がありますので車種に合わせた良い位置のフックを使用してください。

完成図

B アームや、フックへタイトに 長くゴムバンドを伸ばして伸ばして使う場合など

右記の縛り方でストッパーはトラックシートの
ハトメ側に近い位置で固定し遊びが出ないように
しっかり縛ってください。

- ⚠ 注意 固定の際、緩みなくテンションがかかっていることを確認してください。
- ⚠ 警告 車両側の駆動部に干渉する可能性がある位置に装着しないこと、経年劣化で破損の恐れがある部位に装着しないこと。

